

平成9年
2月10日

第90号

発行 守谷町議会
編集 守谷町議会事務局
TEL (0297) 45-1111 (内532)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

もりやまち

議会だより

もくじ

- ①ページ 議決内容
- ②ページ } 一般質問
- ③ページ }
- ④ページ }



ひさびさに会う友人（成人式）

市民会館等建設委員会 設置条例など可決

人権擁護委員候補者に染谷 一氏を推薦

平成八年第四回定例会が、去る十二月六日から十三日まで、八日間の会期で開かれました。今回の定例会には、町長提出議案十二件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。また議員提出議案三件が提出され、一件が否決されました。

第4回定例会 議決内容

●人権擁護委員候補者の推薦
○染谷 一（守谷町大字立沢一〇九三番地 六十一歳 新）

●教育委員会委員の任命
○大久保 治（守谷町大字板戸井一四五一番地の一 六十五歳 再）

●条例制定
○守谷町市民会館等建設委員会設置条例の制定
市民会館等建設事業に伴い、守谷町市民会館等建設委員会設置条例を制定するもの。

●条例の一部改正
○特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○守谷町特別職報酬等審議会の答申に基づき、新たに設置する市民会館等建設委員会の会長及び委員の報酬を追加するもの。

●補正予算
○一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ七千九百一十九千円の増額補正、継続費、債務負担行為および地方債の補正

歳入の主なものは、北園保育所建設補助事業として認定されたことに伴う補助金の増額、不動産売却収入の減額、減税補てん償や北園保育所建設事業債の増額補正など。

歳入の主なものは、人に

●町道路線の認定
取手都市計画事業・守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業の代替地として整備した地区内の道路を町道として認定するもの。

●谷和原・伊奈下水道組合の施設に常磐新線車庫の汚水を放流することについて
守谷町行政区域における常磐新線車庫内の汚水を、谷和原・伊奈下水道組合の施設に放流すること。

●公有財産の処分
平成三年度から取得してきた、守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業地内の常磐新線用地を茨城県土地開発公社に売却するもの。

●工事請負契約の締結
守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業地内における盛土工事の請負契約。

主な内容は、約二千七百立法メートルの盛土工事を行うもので、施工面積は、約二千六百平方メートル。

請願・陳情

皆さんから出された請願・陳情の審査結果をお知らせします。

★採択
○松ヶ丘小学校に引き続き児童を通わせて頂くための陳情

★継続審査
○ゆきとどいた教育の実現のための意見書提出を求める陳情

★不採択
○医療・福祉・介護、社会保障の充実を求める陳情

●継続審査中の陳情
★不採択
○「埋立が計画されている大山新田深田・大谷原地区

の買上げによる自然環境の保全」の陳情

議員提出議案

○けん銃追放に関する決議
○厚生省汚職事件の徹底解明に関する意見書

●原案否決
○医療費の引き上げを伴う関係医療保健法の改正に反対する意見書

臨時会

去る十一月二十日に開かれた第四回臨時会の議決内容をお知らせします。

●専決処分事項の承認
平成八年十月二十日に実施された衆議院議員総選挙に要する経費を専決処分した。

●補正予算

○守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ九千万円の増額補正。

歳入は都市計画道路三・一・四六守谷・伊奈・谷和原線に係る用地対応工事費の補助事業認定に伴う国庫支出金及び県支出金の増額。歳出は、地盤改良盛土工事に伴う工事請負費の増額。

●工事請負契約の締結

守谷東特定土地地区画整理事業地内及び、守谷駅周辺一体型土地地区画整理事業地内の、南守谷八号雨水幹線工事の請負契約の締結で、工事延長二百二十四・九メートル。

一般質問

本定例会における一般質問は、去る十二月十一・十二日の二日間にわたって行われました。質問には十名が登壇し、活発な質問が行われました。

愛宕中学校通学路について

平野 寿郎 議員

平野議員 みずき野地域から愛宕中学校へ通う現在の通学路については、ジャスコが開店したこともあり、交通量が多く、子供達は大変危険な状態の中で通学している。みずき野方面からの通学路については新しく整備する計画があると聞いているが、経過と今後の計画について伺いたい。

平野議員 新しい通学路が整備されるまでの安全対策について伺いたい。

生活経済部長 児童、生徒に対し自転車の一列走行等、安全な通行の指導を各学校へお願いしている。また、自動車の制限速度を三〇キロに規制してほしいと警察署にお願いしている。

都市整備部長 平成三年度に用地測量を行い、六年度から用地買収に着手している。今年度中に一部工事を発注し、平成九年度までに全工事を完了したいと考えている。

乙子交差点

平野議員 乙子交差点については十月にジャスコがオープンしたこともあり、交通量は益々増えているのが現状である。用地買収を県から委任され一年が経過したわけだが、進捗状況について伺いたい。



愛宕中通学路

都市整備部長 相続や代替地の問題があり、担当者の増員だけでは、用地交渉が解決しない面もあるが、今後も早期解決に向けて努力していくのでご理解いただきたい。

都市整備部長 委託を受けた昨年より二〇％アップし、本年度末には全体の五〇％が完了する見込みである。

平野議員 現在のペースでは、用地買収だけで四、五年かかると思われるが、担当者を増やすなりして早急に対応をお願いしたいがどうか。

平野議員 買収完了の目標を伺いたい。

都市整備部長 平成九、十年年度を目標に努力していきたい。

地方分権時代に向けた組織づくり

豊島 清 議員

豊島議員 地方分権については、国や県において具体化してきているが、財源が伴わない権限の委譲が行われれば、財政的に破綻してしまう自治体も出てくる可能性もある。当町では地方分権について、どのように考えているか。

町長 地方へ権限の委譲がされてくれば、自治体により格差が出てくると思われるので、職員ともども研さんを重ね、いつ権限が委譲されても対応できる組織づくりをし、来たるべき地方分権の時代に備えていきたい。

町長 住民主体であること、肝に銘じ、県の方針に沿った形で行政運営をしていきたい。

豊島議員 職員の心構えについてはどうか。

町長 住民に近づくような職員になれるよう努力していきたい。

町長 住民に近づくような職員になれるよう努力していきたい。

町長 住民に近づくような職員になれるよう努力していきたい。

町長 住民に近づくような職員になれるよう努力していきたい。

予算編成方針と歳出の見直しについて

西巻 健治 議員

西巻議員 来年度の予算編成について、各課の要望額と財政課で提示した金額との差は六十六億円に達しているとのことだが、これは前年度を基準に上乗せしていくというシーリング方式で予算編成が行われていることが原因と思う。経常経費を考えず、ゼロから積み上げていくゼロシーリング

方式で予算編成を行えば、今までの非効率な部分が明確になってくると思うがどうか。

町長 方針について、財政課と協議していきたい。

西巻議員 八年度の起債の残高は百七十三億円程度になるとのことだが、将来の高齢化社会に、どのような影響を与えると考えているか。

西巻議員 就業時間内に会議の延長として会食を行っている場合があるが、改善していくべきではないか。

総務部長 仕事の性格上やむを得ない場合もあるが、食糧費の支出は特に厳しく

か。

保健福祉部長 社会的な要因もあるので、現時点での予測は難しい。

西巻議員 町から補助金を交付している団体について、補助期間の制限はされているが、三、五年程度の周期を決める必要があるのではないかと。

西巻議員 補助金を交付するにあたっては審議会が活動状況等を審査しているが、期間に制限を設けるのは難しい。

西巻議員 補助団体の事務局は役場の職員が兼務している例が多いが、各団体内に設置していくのが本来の姿勢ではないか。

西巻議員 出張旅費の支給について、町の境界線に近い地域に公務出張した場合でも旅費が支給されるという点には疑問がある。民間企業では出張に対する日当は支払われない場合がほとんどであり、臨機応変な形で出張命令を出していくべきではないか。

西巻議員 国・県の準用規定があるので、この自治体でも同じような取扱いはなすと思う。

西巻議員 議員が本会議等に出席した場合支給される費用弁償について、考え直す時期にきていると思うがどうか。

西巻議員 職務遂行に要した経費を補うために費用弁償を支給しているが、今後議員の皆さんと相談していきたい。

西巻議員 就業時間内に会議の延長として会食を行っている場合があるが、改善していくべきではないか。

総務部長 仕事の性格上やむを得ない場合もあるが、食糧費の支出は特に厳しく

西巻議員 地区公民館で行われる各種のイベントについて、予算の関係で断念せざるを得ない企画があると聞いている。入場料を見直し、より充実した企画を行うことも必要ではないのか。

西巻議員 年度末になると次年度予算への影響を懸念して無理に消化しようとするケースが間々あるが、余った予算については次年度に繰越をし、ある程度は担当部内の決裁で使えるような配慮はできないものか。

西巻議員 必ずしも予算を全額執行する必要があるとは常々指導しており、その効果は少しずつ出てきている。

西巻議員 民間ではリストラと称し社員削減を行っている企業も少なくないが、公務員においては常に定員モデルに沿った職員の採用が続けられている。人件費を削減する意味でも、職員の定数を控えるにしてい

西巻議員 住民のニーズは増大してきており定員の削減は難しいが、OA化等による事務の効率化を図り、住民サービスが低下しない形で努力したい。

西巻議員 中央公民館を除く各地区公民館の館長は非常勤で対応しているが、館長は常勤職員にすべきではないか。

西巻議員 活動状況によっては職員が館長になる方が望ましいと思う。

西巻議員 公共団体が発注する事業については、民間よりも積算ベースが高いという指摘がよく新聞等で報道されている。民間企業と比較した積算を十分行い努力をしていただきたい。

総務部長 入札予定価格の設定は、慎重に行いたい。

西巻議員 当町のひっ迫した財政状況は今後も続くことが予想されるが、どのような方針で対応していくのか。

町長 限られた予算を執行

情報公開と行政の質的転換について

栗橋 義三 議員

栗橋議員 町長の政治に対する手法と決意について伺いたい。

町長 最小の経費で最大の効果を上げるため努力していきたい。

栗橋議員 情報公開条例については至急制定していかなければならない課題と思うが、見解を伺いたい。

町長 現在は庁内をオンラインで結ぶ整備を進めており、平成十年頃には情報公開条例を制定したいと考えている。

栗橋議員 監査委員については現在二名の方をお願いしているが、増員する必要があると思うがどうか。

町長 市制が施行された時点で三人になると思う。

栗橋議員 各団体に対する補助金について、補助要綱を満たしていれば毎年交付しているのが現状だが、補助期間に制限がないのは疑問である。審査方法に問題はないのか。

財政課長 繰り越し額が多い団体については、補助金を交付しない場合もある。

町税滞納対策

栗橋議員 当町では三億七千八百万程度の町税滞納額を抱えており、税務課職員だけで対応するのは難しいと思うがどうか。

総務部長 景気が低迷しているということもあり、滞納額は年々増えているとい

栗橋議員 住民票や印鑑証明書については、平成五年までは土曜日についても発行していたが、取り止めた当時のいきさつについて伺いたい。

生活経済部長 利用者が少なかったため土曜日の発行を打ち切ったわけが、利便性を図るため、文化会館と郷土公民館において発行するようにした経緯がある。

栗橋議員 人口の増加を考慮すれば、土・日曜日に発行業務を行うべきであり、自動交付機の設置も含めて検討してもらえないか。

町長 インラインの整備が整いしだい検討してみたいと思う。

していくには今までの考え方では厳しいと思うが、民間の厳しさを研修したり、議会の方々の指導を仰ぎながら努力していきたい。

栗橋議員 休日を利用し、課長補佐以上の管理職がいつせいに滞納者宅を訪問してはどうか。

総務部長 他の自治体での事例もあるので、検討しているところである。

栗橋議員 全額前納報奨金については、普通徴収の場合のみが対象であり、不公平感がある制度と思うが、見直す必要はないのか。

総務部長 必ずしも悪い制度ではないと思うが、今後の検討課題にしたい。

諸証明の土・日交付

栗橋議員 住民票や印鑑証明書については、平成五年までは土曜日についても発行していたが、取り止めた当時のいきさつについて伺いたい。

生活経済部長 利用者が少なかったため土曜日の発行を打ち切ったわけが、利便性を図るため、文化会館と郷土公民館において発行するようにした経緯がある。

栗橋議員 人口の増加を考慮すれば、土・日曜日に発行業務を行うべきであり、自動交付機の設置も含めて検討してもらえないか。

町長 インラインの整備が整いしだい検討してみたいと思う。

薬物乱用と いじめ問題

栗橋議員 覚せい剤の乱用は低年齢層で急増しているが、これは薬物乱用の恐ろしさに対する意識が希薄なことが原因と思われる。文部省による覚せい剤対策は、パンフレットの配布等のみで、あまりにも不徹底であり、このまま手ぬるい対応を続けていけば、中学生や高校生の覚せい剤乱用は爆発的に広がる危険性がある。

のころは薬物乱用についての報告はされていないが、今後も警察や関係機関との連携を深め、薬物乱用防止に万全を期したい。

行政効率の向上を図れ

小関 道也 議員

小関議員 町民の大切な税金をより有効に活用するためには、無駄を無くし、各事業の優先順位をしっかりと見極めて行っていくことが必要であるが、業務の効率性には疑問がある。少しでも税金を有効に使うために次の提案をしたい。

補助金の見直しを

小関議員 補助金の支出について、次の点を改善してほしい。

一、役場の職員が補助金を交付している団体の事務局を兼務している例が多いが、団体が成熟した時点で移管すべきだ。

二、団体が適正な活用をしているか、その審査方法については疑問があるので、改善願いたい。

三、農業後継者への積極的な支援。

四、職員の福利厚生については、職員互助会に補助金を支出するのではなく、福利厚生費として予算化すべきだ。



開発が進む黒内小学校周辺

町長二期目就任の所信を問う！

中村 力 議員

中村(力)議員 所信表明には、これから守谷町がさらに大きな都市に発展していく上で欠くことのできない水や電力事情の問題について触れられていないが、生活に必要なこれらの諸問題について、どのように考えているか。

総務部長 総合計画に基づいて整備していきたいと考えている。

中村(力)議員 町政運営の決め手は、町長や町長を補佐する職員が団結して、住民の希求する諸々の事業を成し遂げていくことが大切であると思うが、職員の評価について、一日一日の仕事の成果をどのような形で把握しているのか。

総務部長 職員の研修、研さんをを行い、住民が納得できる予算の範囲内で最大の効果を上げることが大切であるので、そういうことを意識して進めている。

中村(力)議員 職員の各研修報告書に対しては、本人にその評価を示し、意欲を沸かしたせるようお願いしたい。また、近隣市町村を含めた人事交流を行っているか。

町長 二年後ぐらいを目途に実施したいと考えている。

中村(力)議員 職員が持つ潜在能力については、採用してから五年以内に把握することが必要だろうと思うがどうか。

総務課長 採用後三年サイクルを目途に異動させ、職員個々の適正を判断し、また自己申告制度により、能力や資格、やりたい仕事等を把握し、人材育成に努めている。さらに、平成八年度から職員の研修意欲を尊重するため希望研修制度を取り入れている。

中村(力)議員 常磐新線守谷駅に東口を設置することになったと聞いている。町政の基本が「住民が主人公である」ならば、事務の経過、経緯等を常に住民に知らせることが大切であると思うが、その後の状況について伺いたい。

常磐新線推進部長 東口に改札口はできることになったが、具体的な内容については、今後、日本鉄道建設公団と協議していきたい。

中村(力)議員 町は豊かな緑を失いつつあるという意見が町民からでている。小・中学校周辺の教育環境を整える意味でも、早い段階で景観条例なるものを制

放置自転車の解消に向けて最善をつくせ

山田 清美 議員

山田議員 新守谷駅周辺の放置自転車については、以前から解消するようお願いしているが、どのような対策を講じているのか。

生活経済部長 放置自転車へ注意札を付いたり、職員による現地指導を実施してきたが、指導等を行っても、何日か経過するとまた放置されてしまうのが現状である。

通学区域は 弾力的に

山田議員 通学区域の設定基準について伺いたい。

教育次長 小・中学校ともに町内会、自治会を基本に決定されている。

所信表明について問う！

中田 孝太郎 議員

中田議員 当町の起債残高は百七十億円に上り、財政状況は極めて厳しいと思うが、町長が所信に掲げるまちづくりを実現していくために、予算の効率的な執行をどのよう考えていくのか。また、職員間に競争の原理を取り入れ、組織の活性化を図ってはどうか。

町長 民間企業ではリストラを行うなど、あらゆる手段で経費を削減しているのが実情だと思う。このよう

黒内地区の 排水問題

中田議員 黒内小学校周辺の排水については関東鉄道を横断して守谷沼方面へ放流されていくわけだが、常磐新線開通による周辺の開発工事の影響により、排水機能は低下してしまっただけである。このため大雨の際には、黒内小学校の校庭に水があふれてしまっただけである。このため大雨の際には、黒内小学校の校庭に水があふれてしまっただけである。

中村(力)議員 職員の各研修報告書に対しては、本人にその評価を示し、意欲を沸かしたせるようお願いしたい。また、近隣市町村を含めた人事交流を行っているか。

町長 二年後ぐらいを目途に実施したいと考えている。

中村(力)議員 職員が持つ潜在能力については、採用してから五年以内に把握することが必要だろうと思うがどうか。

総務課長 採用後三年サイクルを目途に異動させ、職員個々の適正を判断し、また自己申告制度により、能力や資格、やりたい仕事等を把握し、人材育成に努めている。さらに、平成八年度から職員の研修意欲を尊重するため希望研修制度を取り入れている。

中村(力)議員 常磐新線守谷駅に東口を設置することになったと聞いている。町政の基本が「住民が主人公である」ならば、事務の経過、経緯等を常に住民に知らせることが大切であると思うが、その後の状況について伺いたい。

常磐新線推進部長 東口に改札口はできることになったが、具体的な内容については、今後、日本鉄道建設公団と協議していきたい。

中村(力)議員 町は豊かな緑を失いつつあるという意見が町民からでている。小・中学校周辺の教育環境を整える意味でも、早い段階で景観条例なるものを制

A M I問題

定し、茨城県の玄関口としてふさわしいまちづくりをしていくべきではないか。

都市整備部長 町の景観形成の基本計画を策定し、その中で検討していきたい。

中村(力)議員 当町は高齢化率が低いという意識があり、高齢者対策は立ち遅れていると思う。職員の福祉意識の高揚のためにも、ヘルパーだけではなく、一般職員をお年寄りのいる家庭に派遣してはどうか。

総務部長 具体的な検討はしていないが、意識して臨みたい。

中村(力)議員 住民が主人公となるまちづくりを実現していく上で、次の事項について情熱を持って臨んでいただきたい。

一、入札による差金は安易に不用額にしないで、予算編成時に削除されてしまった事業等に充てる。

二、恒久化している無駄を大胆に改革していく。

三、中核都市としてのポリュームを備えた市としての認識で、まちづくりを臨む。

障害者にやさしいまちづくりを!

中村 信行 議員

中村(信)議員 障害者の日について、町独自でどんな取り組みをしているか。

保健福祉部長 障害者の日は十二月九日に国際連合で障害者の権利宣言を採択したということ、平成五年に改正された障害者基本法に明文化されたわけだが、県における文化祭への芸術作品の出品、障害者社会自立シンポジウム、福祉の集い、江戸崎福祉事務所管内の取手駅での街頭啓発に参加している。また、町社会福祉協議会で広報紙を発行

し十二月号に障害者の日の特集を組んでいる。

中村(信)議員 町独自で特定の日を設けて、そのイベント等を通して障害者団体の綿密なネットワーク化を図って頂きたい。

町長 障害者の日に合わせてイベント等を考え、障害者への理解と認識を深める啓蒙・啓発活動を図ってきたい。

幼稚園への補助

中村(信)議員 障害を持つ

つお子さんの幼児教育については、療育的な効果を考えると、一般の健全な子供たちと一緒に幼児期を過ごすことが非常に重要と思われる。しかし幼稚園側では財政的な問題があり、なかなか受け入れられないのが現状のようである。

県においては、障害児の通園に対し補助制度を設けているが、認定の問題により補助制度が活用されていない状況も聞かれます。町では町で補助金が受けられるよう保護者の方や幼稚園に対しアドバイスをしていただきたい。また、県からの補助金では十分でないこともあり、取手市においては平成六年度から市独自で補助金制度を設けているが、当町においても町独自の助成制度を確立し、バリアフリー社会の充実に努力して頂きたいがどうか。

町長 幼稚園の方と話し合う機会を持ちたい。

中村(信)議員 犬を放置してはいけないという国の

指導もあり、犬の公園立入禁止措置を講じているようだが、愛犬家のあいだで犬にも自由に運動できる空間が必要であるとの意見が出ている。公園で犬を放し運動させると、幼児への危険性やふんによる公害もあるが、共存していきけるよう、犬を飼っている方と飼っていない方、公園管理者間で協議の場を設け、犬の立入り禁止の看板を撤去できるように環境づくりに努力して頂きたい。

生活経済部長 町の方で犬の飼育方についてパンフレット等を配布して、責任を持って飼って頂くよう指導していただきたい。

都市整備部長 愛犬家の方でマナーを守っている方については不満があると思うが、一方でマナーを守らない方がいるのも現状である。公園では小さな子供達も遊んでいるので、今すぐ撤去するのは難しいが、状況を見て、看板の内容等を含め検討したい。

中村(信)議員 犬を紹介して結びついていくという動きが広まりつつあり、行

犬と人間が共存できる町に



愛犬家との共存が望まれる公園施設

政がバックアップして全町的なネットワークづくりに協力して頂きたい。

高齢者に対する福祉サービスの向上を図れ!

松本 明子 議員

松本議員 老人対策について、現在八名のホームヘルパーを平成十一年には十四名にする計画になっているが、計画している人数では足りないのではないかと。老人保健部長 老人が着実に増えるという状況もある。今後、実情に合わせて計画年次の変更等考えていきたい。

松本議員 老人保健施設について、守谷町の状況を伺いたい。

保健福祉部長 老人保健施設は病院と特別老人ホームの中間施設的な役割を果たすわけだが、守谷町の老人保健福祉計画の中でも平成十一年度までに一ヶ所必要であるという数値目標を出している。現在、守谷町では一ヶ所申請が出ており、平成八九年の二ヶ年で設置するという計画である。

高野小学校の補修を早急に

松本議員 高野小学校建設について、旧校舎の耐震診断を実施したそうだが、内容を伺いたい。

教育次長 耐震診断の契約金額は六百十八万円だが、診断の結果に基づき、補修工事を行う設計料が一千二百万円である。

松本議員 校舎の増築と現在使用している校舎の補修をどのように実施していく計画なのか伺いたい。

教育次長 増築の場所等については検討している段階だが、校舎を増築し、子供達を移した後に改修したいと考えている。建築する場所によっては、一般財源を

投入する額が違ってくるので、検討しているところだが、造成工事をするに比べ、工事は平成九年度に行い、校舎の建築は平成九年度になる計画である。

松本議員 国の補助要項に規定された運動場の広さは確保できるのか伺いたい。

教育次長 最終的な児童数は、一番多い時期で四百名前後になると予測しており、運動場は確保できる。

松本議員 校庭に新しく校舎を建設することになれば、来年度中には完成すると思われ、既存校舎の償却期間を残し十年しかないということを考慮すれば、子供たちが安心して勉強ができるよう全面的な見直しをしていくことも必要だと思うので、合わせて検討願いたい。

松本議員 障害児教育について、障害児が施設に入らないで普通校に通うのは障害児と健常児と一緒に勉強することだと思うが、町として障害児担当の教員を一人加配してもらう要望はできないか。

教育長 これまでも要望してきており、なかなか実現が難しいが、引き続き要望していきたい。

松本議員 町独自で障害児担当の教員を一人確保できないか。

教育長 現在の制度では、

独自で教員として採用することはできないが、介護という形でホームヘルパー等の配置を考えていきたい。

松本議員 義務教育は無償だという立場に立てば、介護は当然必要になってくるので、前向きに検討願いたい。

障害者への助成を

松本議員 障害者の定期的通院交通費について、透析をしていく方や精神障害の方も定期的に病院に行かなければならないので、助成をお願いしたい。また、入院費についても、精神障害という措置入院、認定一級の人については無料だが、二級三級の人には状態が悪くなると入院せざるを得ないので、是非とも心身障害の人たちと同程度の施策ができるようお願いしたい。

保健福祉部長 現在、透析を行っている方については、福祉タクシーの助成ということで、タクシーの初乗り券を年間四十八枚支給している。その外に、身障者一・二級の方、療育手帳を持つていく方に対して福祉タクシーの助成という形で、交通費の一部助成している。医療費の助成では、高額医療については、一定の額以上は負担をしている。精神疾患については、通院は昨年度精神保健法が改正され、自己負担が軽減されたこともあり、現在の町の医療制度、あるいは助成制度の中で対応せざるを得ない。

平成八年十一月二十五日発行の議会だより(第八九号)の中村(信)議員の(仮称)大井沢・北守谷地区公民館建設に関する一般質問に対する町長の答弁の中に、一部まぎらわしい表現があったことをお詫言いたします。